

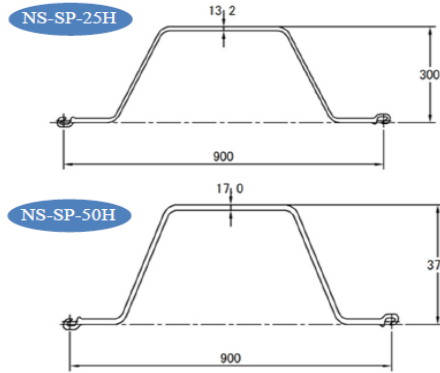
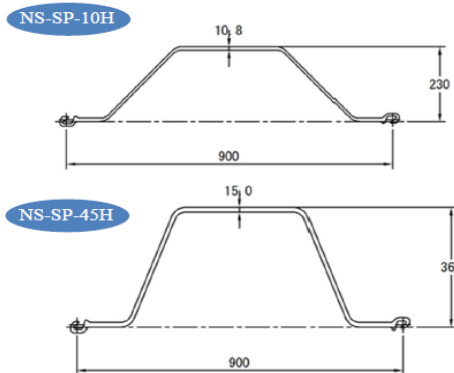
技術概要書（様式）

※別紙2

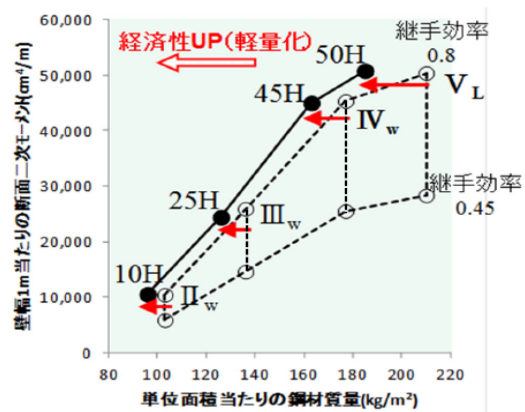
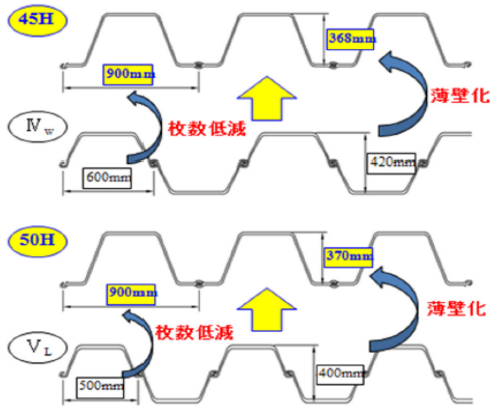
技術分類	安全・防災 維持管理 環境 <b>コスト</b> ICT 品質 <span style="color: red;">（該当分類に○を付記）</span>		
技術名称	経済性に優れたハット形鋼矢板	担当部署	九州支店 建材室
NETIS登録番号		担当者	坂本 俊彦
社名等	日本製鉄株式会社	電話番号	092-273-7031
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>鋼矢板は、河川・港湾護岸、堤防沈下対策、液状化対策、道路擁壁等で広く用いられる鋼材である。従来はU形鋼矢板と呼ばれる鋼矢板が用いられてきたが、より構造信頼性、施工性、経済性に優れた製品とするためハット形鋼矢板を開発し、製品化を行った。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>従来のU形鋼矢板は、400mm幅、500mm幅、600mm幅のU形状をもつ鋼矢板である。鋼矢板継手が壁体中央に位置することから、鋼矢板に土圧が作用すると継手部でせん断力を十分伝達できず、各種設計基準等では断面性能を低減(継手効率)するよう定められている。</p> <p>ハット形鋼矢板は、900mm幅のハット形状を持つ鋼矢板である。鋼矢板継手が壁体最外縁に位置することから、継手効率を考慮する必要がなく、薄肉・大断面構造とすることが可能である。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>高い構造信頼性：従来の鋼矢板で行っていた継手効率による断面性能の低減が不要であり、薄肉・大断面構造を実現。鋼材重量を削減した壁体を構築することが可能。</p> <p>優れた施工性：ハット形状の採用により、大断面でありながら優れた施工性を実現。また、900mm幅をもつため、従来鋼矢板(400mm幅、500mm幅、600mm幅)と比べて施工枚数を大幅に削減させることが可能。</p> <p>優れた経済性：鋼材重量、施工枚数削減により、経済性の向上が可能。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>従来同様のバイプロ施工、圧入施工が可能。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 九州を含む全国案件で多数採用実績あり  自治体 九州を含む全国案件で多数採用実績あり  民間 九州を含む全国案件で多数採用実績あり</p>		

6. 写真・図・表

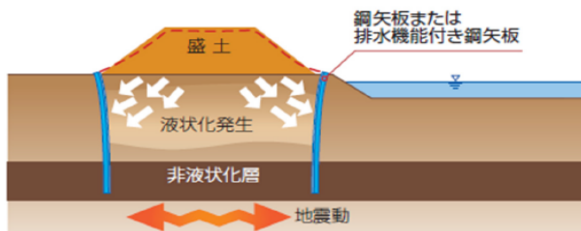
【形状】



【メリット】～工期縮減、工事費縮減、薄壁化～



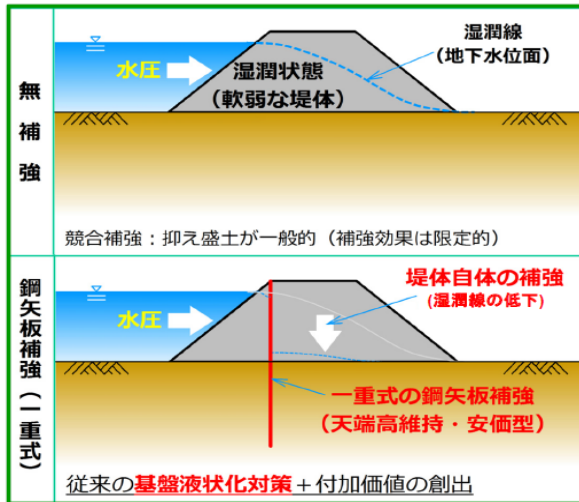
【河川堤防耐震対策への適用】



【砂防ダムへの適用】



【ため池耐震対策への適用】



【鋼矢板による老朽水路の更新】

